

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	日々の生活からお客様の思いや希望、意向をより深く理解していく事が必要。	日々の生活の中でアセスメントを行い、お客様の思いや意向を把握していく。	改めて、センター方式等の書式を利用し、情報収取を行う。職員間の情報共有を実施し、計画書への反映をしていく。日々のお客様との関わりの中で、昔の歌や昔話、過去の体験や習慣など回想法を実践していく。	12ヶ月
2	26 (10)	お客様が自分らしく暮らせるよう、できる事、できない事を把握していくことが必要。	お客様のADL・IADLについて、できる事、できない事を把握し、介護計画作成に活かしていく。	カンファレンスにて本人様のできる事、できない事の話し合いを行い、介護計画作成に繋げていく。	12ヶ月
3	52 (19)	居室の大掃除をお客様、ご家族でして頂き、交流を図りながら、本人様の居心地の良い居室空間づくりに努めていく。	居室の大掃除をお客様、ご家族様でして頂く。	ご家族様交流会にて、ご家族様に相談し検討していく。(平成31年3月予定)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。